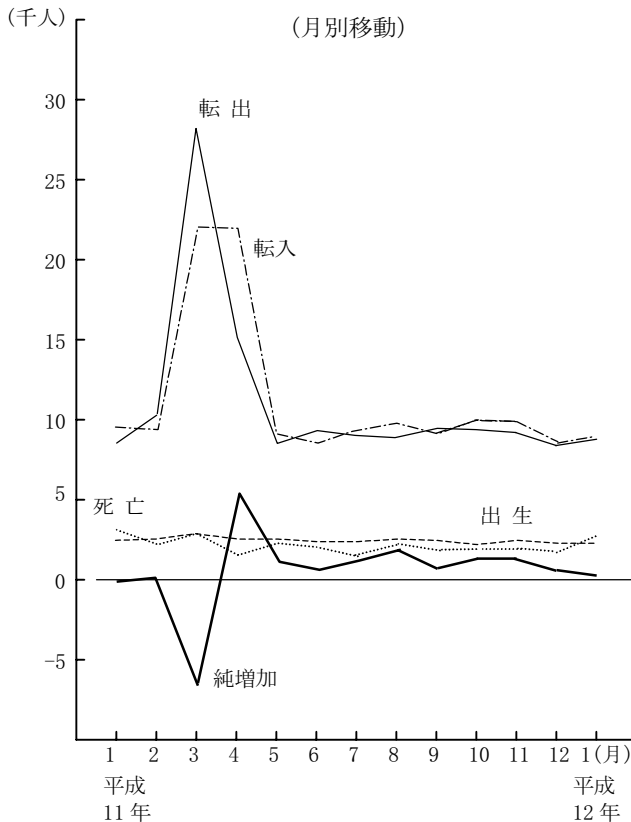


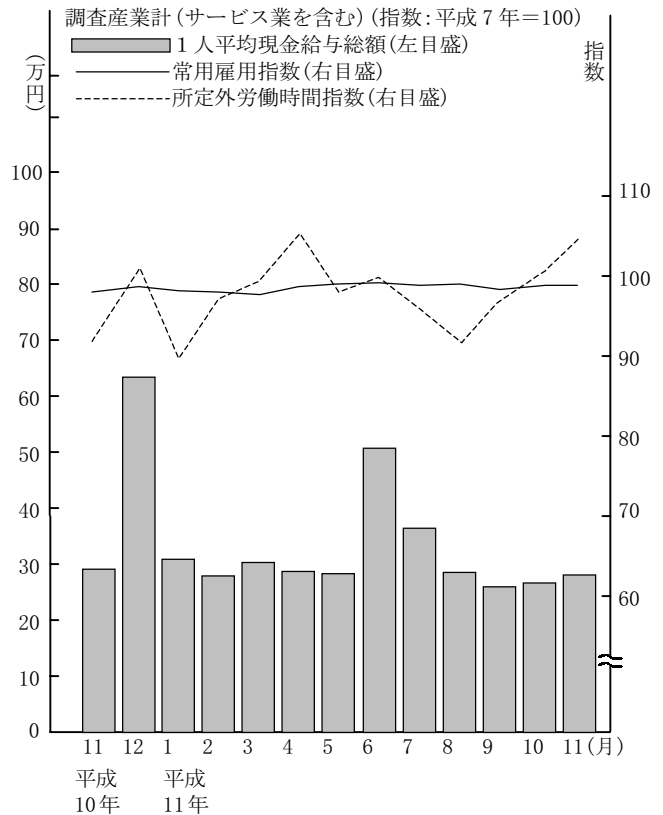
■今月の主な動き

今月の主な動き

人 口



賃金・労働時間・雇用



■人口（12年2月1日）

1月の概況

本県の人口は、1月中に75人増加し、2月1日現在で**3,002,076人**（男1,498,281人、女1,503,795人）となった。

内訳は、自然動態で、-98人（出生2,441人、死亡2,539人）減少し、社会動態で、173人（転入8,963人、転出8,790人）増加した。前年同月と比べると6,839人（0.2%）の増加である。

市町村別では、増加が9市28町村、減少が10市35町村、増減なしが1市2町村である。

世帯数についても1月中に504世帯増加し、**990,185世帯**となった。

■賃金・労働時間・雇用（11年11月）

1. 平均賃金の推移

11月の現金給与総額は、調査産業計で、**281,663円**、対前年同月比0.7%減であった。現金給与総額のうち、きまって支給する給与は272,274円、前年同月と同水準であった。特別に支払われた給与は、9,389円であった。

2. 労働時間

11月の総実労働時間は、調査産業計で、**157.9時間**、対前年同月比1.3%増であった。総実労働時間のうち、所定内労働時間は147.2時間、対前年同月比0.3%増であった。所定外労働時間は10.7時間、対前年同月比14.4%増であった。

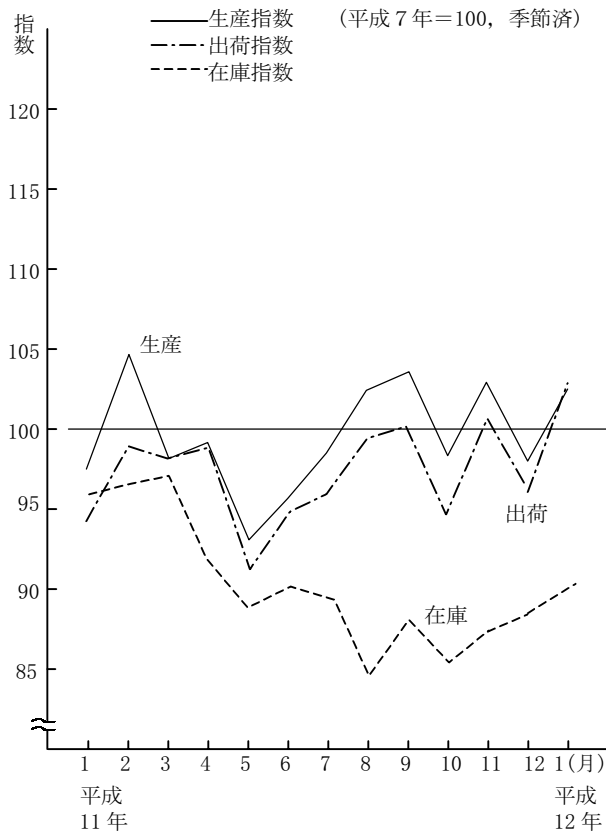
3. 雇用の動き

11月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.6%増であった。

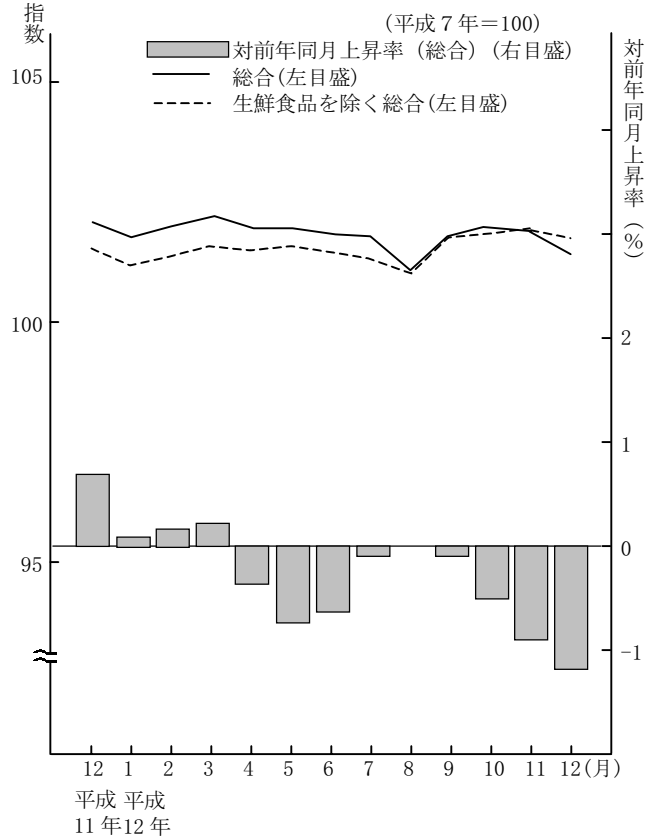
※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（12年1月）

本県における平成12年1月の“鉱工業指数”（平成7年=100）は、季節調整済指数で、生産が102.6、出荷が103.0、在庫が90.3であった。

- 生産の前月比は4.9%の上昇、前年同月比は5.0%の上昇であった。業種別に前月比をみると、電気機械工業、一般機械工業、その他工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、食料品・たばこ工業等が低下した。財別にみると、耐久消費財、資本財等が上昇し、その他用生産財、鉱工業用生産財等が低下した。
- 出荷の前月比は7.2%の上昇、前年同月比は8.9%の上昇であった。業種別に前月比をみると、一般機械工業、電気機械工業、鉱業等が上昇し、精密機械工業、プラスチック製品工業、輸送機械工業等が低下した。財別にみると、資本財、耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、鉱工業用生産財が低下した。
- 在庫の前月比は1.7%の上昇、前年同月比は△6.1%の低下であった。業種別に前月比をみると、プラスチック製品工業、輸送機械工業、精密機械工業等が上昇し、鉱業、石油・石炭製品工業、食料品・たばこ工業等が低下した。財別にみると、耐久消費財、鉱工業用生産財が上昇し、その他用生産財、資本財等が低下した。

■ 消費者物価指数（11年12月）

平成11年12月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.3（平成7年=100）となり、対前月比は（-）0.2%下落し、対前年同月比も（-）1.2%の下落となった。

- 今月の上がった主な項目・・・生鮮魚介2.4%、
 生地・糸類2.2%
- 今月の下がった主な項目・・・生鮮野菜（-）8.7%、
 生鮮果物（-）12.1%

生鮮食品を除く総合は101.7となり、対前月比は、（-）0.1%下落し、対前年同月比も（-）0.3%の下落となった。

■ 費目別指数

区分	指数	上昇率 (%)		区分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.3	△0.2	△1.2	保健医療	111.6	0.3	△0.4
食料	100.7	△0.8	△3.2	交通通信	97.6	0.2	0.0
住居	101.7	△0.1	△0.2	教育	108.4	0.0	0.9
光熱・水道	101.2	0.0	△0.7	教養娯楽	98.2	0.0	△0.8
家具・家事用品	95.4	△0.4	△1.2	諸雑費	102.2	△0.2	△0.3
被服及び履物	108.1	△0.5	△1.8	生鮮食品を除く総合	101.7	△0.1	△0.3